

アスリートケア2012年度研修会のご案内(第1報)

今年度の研修会はトレーニングの理論と実際について、基礎研究の分野及び実際のスポーツ現場で活躍されている先生を講師としてお招きし、研修会を開催いたします。

基礎研究の分野から、超音波やMRIなどの画像解析手法を駆使し、関節運動における筋や腱などのダイナミックな動きの測定、評価から、運動の規定因子について研究が行われている川上先生に、パフォーマンスレベル向上の要因について、これまでに研究されてきた知見を基にご講演頂きます。

次にトレーニングの実際として水泳選手のトレーナーとして数々の国際大会に帯同し、今回のロンドンオリンピックの水泳日本代表トレーナーとして帯同予定の小泉先生にコアトレーニングの実際について、アスリートに対するトレーニングだけでなく、日常臨床でも取り入れる事が可能な方法について講演をお願いしております。

併せて、2011年度助成対象研究の成果発表を行います。

スポーツ選手のケアに関して興味を持たれている職場の方や学生さんもお誘い合わせてご参加ください。

研修会内容：

【講演1】

「パフォーマンスレベル向上の要因について」

講師：川上 泰雄 先生（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）

【講演2】

「最新のコアトレーニング」

講師：小泉 圭介 先生（国立スポーツ科学センター 理学療法士）

【助成研究発表】

アスリートケア 2011年度助成対象研究

日時：2012年10月28日（日） 13:00～17:30

参加費： 会員 2000 円、非会員 5000 円、一般学生 2000 円、学生会員 1000 円

会場：大阪保健医療大学 2号館（大阪市北区天満1-17-3）

*会場に駐車場はありません。各種公共交通機関をご利用の上お越しください。

アスリートケア ホームページ

<http://www.athlete-care.jp/>

問い合わせ先:アスリートケア 研修部

(athletecare_kensyu@yahoo.co.jp)

講師紹介

川上 泰雄 先生 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

略歴 1988年東京大学卒業、同大学院修士課程修了

1995年博士（教育学） 東京大学大学院教育学研究科 学位論文「人間の骨格筋の形状と筋活動能力」

1991年4月 東京大学教養学部助手

1999年12月 東京大学大学院生命環境科学系助教授

2003年4月 早稲田大学スポーツ科学部助教授

2005年4月 早稲田大学スポーツ科学学術院（スポーツ科学部・大学院スポーツ科学研究科）教授

著書にローイングの健康スポーツ科学、市村出版

スプリントトレーニング—速く走る・泳ぐ・滑るを科学する 朝倉書店など

小泉圭介 先生 国立スポーツ科学センター 理学療法士 JOC水泳強化スタッフ

略歴 2000年 東京衛生学園専門学校リハビリテーション科卒業

2006年 国立スポーツ科学センター アスレティックトレーナー

主な日本代表トレーナー歴

2007年世界水泳選手権大会

2008年世界ジュニア選手権

2011年世界水泳選手権大会

2012年ロンドン五輪 競泳競技（帯同予定）等他多数